

R8.9

舞鶴ふるさと発見館

舞鶴市郷土資料館だより

★舞鶴市内の学生は入館無料です★



ミュージアム
トーク

9/20 (日)
13:30~14:30

牧野家初代藩主
牧野親成について

展示室にて実施

★参加費無料

★前日までに郷土資料館 (75-8836) へ

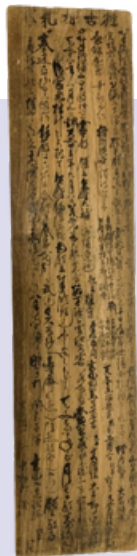
夏の企画展は 6日(日)まで！

一色 矢野 細川

生き残るのは誰だ？

丹後舞鶴 戦国サバイバル！

Isshiki, Yano, Hosokawa: Who will survive? - Tango-Maizuru Sengoku Survival! -



左右
大俣城復原模型（舞鶴市蔵）
山口神社棟札（山口神社蔵）



本展もいよいよ9月6日で閉幕です。去る8月2日には（公財）京都府埋蔵文化財調査研修センターの森島康雄先生を講師にお迎えし、「戦国時代の舞鶴」について発掘調査の成果と文献資料の両方からお話いただきました。右上の大俣城の模型は、発掘調査の成果を基に作成されたものです。市内外から集結した貴重な資料をお見逃しなく！

9月8日（火）からは一味違う常設展

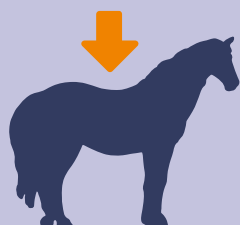
当館常設展の考古コーナーには、弥生時代の出土品をご紹介しているスペースがあります。しかし、その資料群は佐賀県にある吉野ヶ里歴史公園の特別企画展『よみがえる邪馬台国ー倭人伝のクニを探るVIII』に貸出中。代わりに**普段展示していない縄文土器を一挙公開**いたします。縄文土器が好きな方には大チャンス。志高遺跡出土の縄文土器をこの機会にご覧ください。



学芸員が選ぶ
今月の一品

でん まきの ちかしげ くら
伝牧野親成 鞍

鞍は馬の背中に
乗せて使う馬具



漆と金で飾られています

京都府では今年「寛永行幸400年祭」が催されます。**寛永行幸**とは大坂の陣の11年後の寛永3(1626)年、徳川将軍家光が後水尾天皇とその中宮で徳川秀忠の娘の和子などを二条城に招き平和の到来を世に知らしめるものでした。

田辺藩を治めた牧野家藩主の中でも、**初代牧野親成**は田辺の地に移る前は京都所司代という幕府と朝廷の間を取り持つ役職に就いていました。親成は、京都所司代の時に東福門院(徳川和子)と深く交流し、『牧野家系譜』には女院からのお見舞いなどの記事がのこされています。この金時絵の鞍は牧野親成のものと伝わります。

糸井文庫コーナー

9月のテーマ

糸井文庫は糸井仙之助が集めた丹後関連資料（約2200点）です。中でも丹後の伝説を描いた浮世絵が約200点あります。そこで、当館では毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。

浮世絵 — 舞台は京都



「石川五右衛門と足利義照」安政4年 三代歌川豊国

当館が収蔵する糸井文庫は丹後一円の資料を集めており、中でも丹後の伝説関連の資料が豊富です。今月のテーマは「浮世絵—舞台は京都」です。浮世絵といえば江戸文化を思い浮かべますが、京都が舞台の物も多くあります。今月は、足利將軍家に盗みに入った**石川五右衛門**を描いた浮世絵を集めました。

石川五右衛門は安土桃山時代の盗賊で、豊臣秀吉所持の「千鳥の香炉」を盗もうとして捕らえられ、釜煎りの刑に処されたといわれています。彼の出生地には多くの説がありますが、その一つに丹後出生説があります。丹後に残る記録では、守護大名の一色氏（丹後地域を治めた名門）の家老石川秀門の次男で、後に盗賊になった五郎左衛門が石川五右衛門だとされます。

★西舞鶴駅から徒歩10分★



舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

開館時間 9:00～17:00（最終入館16:30まで）

今月の休館日

7日（月）・14日（月）・24日（木）・28日（月）

〒624-0853

舞鶴市字南田辺1番地

西総会館 1F北側

TEL 0773-75-8836 FAX 0773-77-1314

入館料

大人 100円

舞鶴市外の学生
50円

★舞鶴市内に居住または通学する学生は入館無料です★